

科目名	教育の方法と技術						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	2	前期			
担当者名	伊藤 一統	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修				
<b>授業概要</b> 教授－学習活動に関する基本的な理論・事項を理解するとともに、教授活動のために必要なスキル(学習者との関わり、板書方法、視聴覚機器の活用、ICTの活用など)について学び、それらのスキルを習得することを目標とする。特にICTや視聴覚機器について理解を図り、それらを実際の幼児教育で活用する際に必要となる知識や技術の習得を図る。							
<b>到達目標</b> ・教育・保育活動において子どもたちの動き・意識に配慮した指導法を考え、実践することができる。 ・より効果的かつ質の高い教育・保育活動を行うためにメディアを適切かつ有効に用いることができる。				<b>成績評価方法</b> 定期試験 40% 課題、提出物、受講状況 60%			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○		○		30
授業態度・授業参加度					○		5
プレゼンテーション							
グループワーク		○			○		5
演習			○		○		5
実習			○		○		5
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) オリエンテーション ・ 講義の概要および受講に際する留意点等の説明							
2) 教えることの理論と方法1 ・ 理論と知見を学ぶ							
3) 教えることの理論と方法2 ・ 指導過程における実際							
4) 教えることの理論と方法3 ・ 学ぶ意欲を喚起する方法							

5) 情報化社会とメディア・リテラシー ・ メディアに対して必要な態度・知見	
6) コミュニケーションとメディア 1 ・ 「構成する」技術	
7) コミュニケーションとメディア 2 ・ 「伝える」技術	
8) コミュニケーションとメディア 3 ・ コミュニケーション・メディアの作成	グループワークと演習
9) 保育・教育とデジタル・メディア ・ 現状と課題	
10) 保育・教育実践への活用 1 ・ 画像処理の方法	演習
11) 保育・教育実践への活用 2 ・ デジタル教材の作成	演習
12) 保育・教育実践への活用 3 ・ デジタル教材の作成 2	演習
13) 保育活動を支援する ICT ・ 情報の蓄積と共有の方法	
14) 保育現場で必要とされる情報活用能力	
15) まとめ ・ ICT時代の保育と子ども	
授業外学習	
電子メディアの活用	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<テキスト> 資料配付	情報機器の操作 保育内容の各講義
備考	
<注意> 「努力した」は認められない。確実な「理解」と「学修」が望まれる。 【オフィスアワー】	